

2023 年 3 月期決算について

株式会社AIRDOは、5月29日(月)、2023年3月期決算をとりまとめました。

1. 2023年3月期の業績

(1) 概況及び経営成績

当事業年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が残るものの、WITH コロナ方針の下での各種政策による効果もあり、緩やかに持ち直しの動きがみられました。

国内航空業界においては、ワクチン接種の進捗や社会経済活動の維持に向けた機運醸成等により、国内線における旅客需要の回復が鮮明となりました。一方でウクライナ情勢の影響を受けた原油価格の高止まりや、各国の金融政策等を起因とした急激な為替変動により予断を許さない状態が継続しております。

このような状況下で当社は、2022年7月より7年ぶりの新規路線である札幌－福岡線を就航いたしました。既存路線においても運航規模を全便運航に戻し、旅客需要の積極的な取り込みを図りました。

また、コロナ禍で棄損した財務基盤の強化を図るべく株式会社ソラシドエアと2022年10月に共同持株会社「株式会社リージョナルプラスウイングス」を設立し、2022年12月より航空券＋宿泊のパッケージ商品「AIRDO ダイナミックパッケージ」においてソラシドエア路線をご利用いただけるようにするなど、協業をさらに推進し、利便性向上を図りました。

これらの結果、営業収入はコードシェアによる座席販売分を含め、41,509百万円(前年同期比52.0%増)となりました。

事業費は35,219百万円(前年同期比22.2%増)となりました。販売費及び一般管理費は3,673百万円(前年同期比13.8%増)、営業費用は38,893百万円(前年同期比21.4%増)となり、この結果、営業利益は2,616百万円、経常利益は2,383百万円、当期純利益は法人税等調整額を△2,123百万円計上したこと等により、4,222百万円と、3期ぶりの黒字となりました。

【経営成績】

項目	2023年3月期	2022年3月期	増減	増減率(%)
営業収入 (百万円)	41,509	27,313	+14,195	+52.0
営業費用 (百万円)	38,893	32,048	+6,844	+21.4
営業利益 (百万円)	2,616	△4,735	+7,351	—
営業利益率 (%)	6.3	△17.3	+23.6pt	—
経常利益 (百万円)	2,383	△4,692	+7,075	—
当期純利益 (百万円)	4,222	△2,367	+6,589	—

(2) 運航実績、輸送実績

【運航実績】

項目	2023年3月期	2022年3月期	増減	増減率(%)
運航便数 (便)	22,509	18,967	+3,542	+18.7
就航率 (%)	98.5	98.5	0.0pt	—
定時出発率 (%)	87.6	93.9	△6.3pt	—

【輸送実績】

項目	2023年3月期	2022年3月期	増減	増減率(%)
提供座席数 (千席)	2,935	2,433	+501	+20.6
旅客数 (人)	2,041,096	1,161,787	+879,309	+75.7
座席キ口 (千席・キ口)	2,787,239	2,295,617	+491,622	+21.4
旅客キ口 (千人・キ口)	1,942,133	1,091,204	+850,929	+78.0
利用率 (%)	69.7	47.5	+22.2pt	—

(注) 輸送実績には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

【路線別利用率】

(%)

路線	2023年3月期	2022年3月期	備考
「札幌－東京」線	72.2	51.6	
「旭川－東京」線	68.2	40.6	
「女満別－東京」線	61.8	42.3	
「釧路－東京」線	62.7	46.8	
「帯広－東京」線	66.8	50.7	
「函館－東京」線	68.2	49.2	
「札幌－仙台」線	49.0	27.7	
「札幌－名古屋」線	67.4	57.7	
「札幌－神戸」線	80.3	37.8	
「札幌－福岡」線	75.3	—	※ 2022年7月開設
「函館－名古屋」線	57.5	39.9	
全路線合計	69.7	47.5	

(注) 路線別利用率には、全日本空輸株式会社への座席販売分を含めておりません。

(3) 財政状態

【財政状態】

項目	2023年3月期末	2022年3月期末	増減
総資産 (百万円)	41,349	48,850	△7,501
純資産 (百万円)	10,359	8,105	+2,253
1株当たり純資産額 (円)	66,224.03	19,499.37	+46,724.66
自己資本比率 (%)	25.1	16.6	+8.5pt

2. 2024年3月期の見通し

当社を取り巻く環境は、引き続き原油価格の高騰や円安傾向の継続など、燃油価格の高騰をはじめ、費用増加の傾向が予想されます。一方、コロナ感染症の分類引き下げによる旅客需要の回復の着実な取り込みと、ソラシドエアとの協業による増収・コスト削減を進めてまいります。これらを踏まえ、現時点における2024年3月期の連結業績の見通しは、以下の通りとなります。

項目	予想	前期実績 (2023年3月期)	増減
営業収入 (百万円)	47,700	41,509	+6,191
営業利益 (百万円)	1,900	2,616	△716
営業利益率 (%)	4.0	6.3	△2.3pt
経常利益 (百万円)	1,500	2,383	△883

以上

※ 昨年10月3日に(株)ソラシドエアと設立した共同持株会社(株)リージョナルプラスウイングスの2023年3月期連結決算については、下記のプレスリリースをご参照ください。

(株)リージョナルプラスウイングス: <https://www.regionalplus.co.jp/newsrelease/>

貸借対照表

(単位：百万円)

資産の部			負債の部		
科 目	金額		科 目	金額	
	2022年3月期	2023年3月期		2022年3月期	2023年3月期
流動資産	22,714	17,717	流動負債	12,235	10,357
現金及び預金	16,627	14,159	営業未払金	5,037	4,157
営業未収入金	933	1,478	1年内返済予定の 長期借入金	1,987	2,125
有価証券	200	—	リース債務	2,171	2,216
貯蔵品	193	244	未払金	748	1,393
前払費用	331	357	未払費用	305	259
未収還付法人税等	0	0	未払法人税等	17	18
デリバティブ資産	2,875	20	預り金	1,857	54
その他	1,552	1,455	その他	109	132
固定資産	26,136	23,631	固定負債	28,510	20,632
有形固定資産	16,074	17,331	長期借入金	9,999	7,874
建物	289	260	リース債務	12,871	10,667
航空機	2,046	1,760	退職給付引当金	993	1,087
工具器具備品	156	4,048	航空機材整備引当金	4,645	1,003
リース資産	13,403	11,116			
建設仮勘定	132	142			
その他	44	3			
無形固定資産	141	46	負債合計	40,745	30,990
ソフトウェア	140	45	純資産の部		
その他	0	0	株主資本	6,226	10,250
投資その他の資産	9,920	6,253	資本金	100	100
長期前払費用	6,858	137	資本剰余金	8,641	5,927
繰延税金資産	2,586	5,629	資本準備金	—	19
その他	476	486	その他資本剰余金	8,641	5,907
			利益剰余金	△2,514	4,222
			その他利益剰余金	△2,514	4,222
			繰越利益剰余金	△2,514	4,222
			評価・換算差額等	1,878	109
			繰延ヘッジ損益	1,878	109
			純資産合計	8,105	10,359
資産合計	48,850	41,349	負債純資産合計	48,850	41,349

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	金 額		金 額	
	2022年3月期		2023年3月期	
営業収入		27,313		41,509
事業費		28,819		35,219
営業総利益		△1,505		6,290
販売費及び一般管理費		3,229		3,673
営業利益		△4,735		2,616
営業外収益				
受取利息	1		9	
有価証券利息	0		0	
受取精算金	—		26	
受取手数料	21		45	
雇用調整助成金	344		50	
受取負担金	115		—	
為替差益	8		70	
その他	47		11	
		538		214
営業外費用				
支払利息	448		443	
その他	47		3	
		496		447
経常利益		△4,692		2,383
特別利益				
固定資産売却益	41		—	
受取精算金	879		—	
		921		—
特別損失				
固定資産処分損	88		265	
		88		265
税引前当期純利益		△3,860		2,117
法人税、住民税及び事業税	17		18	
法人税等調整額	△1,510	△1,492	△2,123	△2,104
当期純利益		△2,367		4,222